

安全未来特定認定再生医療等委員会

議事録要旨

第 295 回 2 部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区 溝口 1-19-11 グランデール溝の口 502 号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 井上 陽

安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

第 295 回 第 2 部

2026 年 2 月 13 日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったので、その議事録要旨を作成する。

【議題】

学校法人昭和医科大学江東豊洲病院

変更審査「多血小板血漿（Platelet-rich plasma:PRP）を用いた変形性関節症治療」

（申請者：管理者 横山 登）

第1 審議対象及び審議出席者

1 日時場所

日 時：2026 年 1 月 27 日（火曜日）第 2 部 18：45～18：55

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル

2 出席者

出席者：委員については後記参照

陪席者：（事務局）坂口 雄治、坂口 千恵、細川 美香

3 技術専門員 寺尾 友宏先生（委員）

4 配付資料

資料受領日時 2026 年 1 月 13 日

（本審査資料）

- ・ 再生医療等提供計画事項変更届書（様式第二）
- ・ 平易な表現を用いて記載したもの
- ・ 提供する再生医療等の詳細を記した書類
- ・ 再生医療等を行う医師略歴
- ・ 説明文書・同意文書
- ・ 特定細胞加工物概要書
- ・ 特定細胞加工物標準書

- ・ 衛生管理基準書
- ・ 品質管理基準書

(事前配布資料)

- ・ 再生医療等提供計画事項変更届書 (様式第二)
- ・ 平易な表現を用いて記載したもの
- ・ 提供する再生医療等の詳細を記した書類
- ・ 再生医療等を行う医師略歴
- ・ 説明文書・同意文書
- ・ 特定細胞加工物概要書
- ・ 特定細胞加工物標準書
- ・ 衛生管理基準書
- ・ 品質管理基準書

(会議資料)

- ・ 再生医療等提供計画事項変更届書 (様式第二)
- ・ 追加する医師の経歴書

第2 審議進行の確認

1 特定認定再生医療等委員会 (1, 2種) の出席者による成立要件充足

以下の1～8の構成要件における2,4,5or6,8が各1名以上出席し、計5名以上であることが成立要件	氏名	性別 (各2名以上)	申請者と利害関係無が過半数	設置者と利害関係無が2名以上
1 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家	内田 直樹	男	無	無
2 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者	寺尾 友宏	男	無	無
3 臨床医				
4 細胞培養加工に関する識見を有する者	小笠原 徹	男	無	無
5 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家	泉 貴智	男	無	無
6 生命倫理に関する識見を有する者				
7 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者	山下 晶子	女	無	無
8 第1号から前号以外の一般の立場の者	奥田 紀子	女	無	無

* 泉委員は、Zoomにて参加

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、「本再生医療等提供計画に関する役務の提供の関係による除外条件」も含めて、すべての条件を満たしていることを各委員に宣言した。

第3 審議

厚生労働省の再生医療等提供基準等チェックリストを確認したほか、つぎのような質疑応答を行った。

- 1 変更項目: *PRP キットの変更
 *医師の追加
 *医療機関の名称変更

事務局 | 今回の変更審査の中で、医療機関の名称変更については、医療機関より厚生局へ軽微変更を出され受理されています。

寺尾 | P R P キットの変更、追加する医師について、特に問題ありません。

内田 | 追加される長崎先生の経歴書をみると、最終学歴が昭和医科大学大学院となっています。昭和大学から昭和医科大学に変更されたのは昨年、令和7年の4月ですので、下の略歴をみると令和6年9月に卒業ではなく修了されていますので、最終学歴は「昭和大学」になると思います。

また、略歴の中で、令和3年から令和6年に、昭和大学口腔生化学講座で学位の研究をされていますが、口腔生化学は医学部ではなく歯学部の講座なので、おそらく混乱されていると思われます。事務局から確認してください。

その他変更について問題がないか確認し、全委員が問題なしとの意見であった。

2 各委員の意見

- (1) 承認 6 名
(2) 否認 0 名

3 委員会の判定

当委員会は、再生医療等提供計画が、再生医療等に用いられる再生医療等技術の安全性かつ科学的妥当性の確保および生命倫理への配慮がなされ、再生医療提供者が講ずべき措置を行うものと判断する。同時に、再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており(特に、計画の科学的妥当性の評価方法の適切性について検討を行った結果、適切であった)、施行規則に準拠した再生医療を提供するものと判断する。

以上に鑑み、今回審査した計画について「承認」と判定する。

ただし、長崎医師の経歴書の内容については事務局から確認をとり、必要であれば修正資料を提出してもらうこととする。

以上

第4 審査後補正資料の確認

2月12日：施設より、長崎医師の略歴書(補正版)を提出

2月13日：内田委員が資料が適切に補正されたことを確認